

学習意欲を高めるための学び合いのすゝめ

～ワクワク感と必要感を大切にした授業を目指して～

能代市立能代南中学校 教諭 水沢 佑希

1. きっかけ

私が、英語授業において「バディ（いわゆるペア）」と「ファミリー（いわゆるグループ）」を始めてから6年になった。始めたきっかけは、生徒同士で教え合っている様子が英語学習を活性化させていると気付いたからだ。英語に苦手意識をもっている生徒は、頼りになるバディがいることで、「わからない。どうしよう」という不安から解放される。一方、英語が好きな生徒や英語が得意な生徒は、頼りにされることで、「もっと英語がわかるようになりたい」「きちんと教えたい」という気持ちが高まる。また、バディに説明することによって自分自身の理解も深まる。生徒同士の相乗効果は、英語学習が楽しいという気持ちにつながり、さまざまな活動に活発に取り組む生徒の姿となっている。

今回、指導事例集執筆の話をいただいたとき、この「バディ」「ファミリー」のシステムを多くの先生方に知ってもらい、実践してみしてほしいと考えたので、例年行っているシステム作りから、実際の指導事例まで紹介していくこととする。

2. バディとファミリーを決めるための段取り

年度初めに英語アンケートをとる。初めて担当する学年は、1学期は席を変えずにそのまま授業を行い、1学期の最後にアンケートをとるようにしている。その場合は実際の席は2学期からのスタートになる。アンケートの内容は、図1のとおり。仲のよい友達を選ぶのではなく、あくまでも英語学習にプラスになると思う相手をきちんと選ぶように指導する。そうすると、生徒も真剣に自分の相手（バディ）を選ぼうとする。また、自分自身で選んだことにより責任感が高まり、結果として英語学習をがんばろうとする気持ちが芽生えていることを感じている。

工夫した点は、「私は誰とペアになっても一生懸命頑張れます!!!」という項目をつけることだ。この項目をつけることで、マッチングしやすくなるのはもちろんだが、生徒の前向きな気持ちを引き出すことにも作用している。

そのあとに、生徒の英語力を加味して、得意な生徒とやや苦手意識をもつ生徒がバディになるようにマッチングしていく。

座席についても、バディ同士の机は隣同士にして、さらに、教師が机間指

英語のアンケート	
組 番 名前	
☆この人がバディ（ペア）なら、さらに英語の授業を頑張れそう！と思う人は誰ですか。ただ、単に仲の良い人ではなく、英語の授業で頑張れそうという視点で書くこと。	
男子	女子
<input type="checkbox"/> 私は誰とペアになっても一生懸命頑張れます!!! ☆英語のリーダー（ファミリーリーダー）をやってみた。 <input type="checkbox"/> やってみたい <input type="checkbox"/> やってもいいかな <input type="checkbox"/> どっちでもいいですよ <input type="checkbox"/> あんまりやりたくない <input type="checkbox"/> 絶対無理！ ☆目が悪くて座席を前の方にして欲しい人は、いますか。どちらかに○。 ・前の方をお願いします ・どこでも黒板見えます	

図1

導しやすい通路側に比較的英語の不得意な生徒を配置するなど工夫している。

得意な人が不得意な人に一方的に教えるので学び合いにならないと思われるかもしれないが、得意な生徒は、不得意な生徒に説明することによって自分自身の学びが深まると考えている。また、英語の不得意な生徒も活躍できるように、バディ同士での様々な活動を設定している。

また、バディを選ぶのと同時に、ファミリーリーダー（グループリーダー）も決めている。5～6人のグループでファミリーリーダーを1名決める。ファミリーリーダーは立候補を基にして決めており、生徒の意欲向上につながっている。

学年末に、生徒にバディ・ファミリーについてアンケートをとったところ、「分からないときは、バディにすぐに確認しながら課題を解決できるところがいい」「ファミリーに迷惑をかけられないという気持ちから今まで以上に授業に集中できた」「バディやファミリーメンバーの助言のおかげで、自信をもって挙手・発表できた」という声が多かった。また、ファミリーリーダーは「自分がお手本になって、単語や英文を読まなければならない場面があるので、先生の発音をさらに注意深く聞くようになった」などの声もあった。バディとファミリー制度を継続してほしいかという問いに対しては、毎年、95%の生徒が継続してほしいと回答している。

3. 実践例

(1) 前時の復習

前時の復習の際、バディ・ファミリーで図2のような活動を行っている。バディ・ファミリーの活動にすることで、一人一人の生徒がしっかり確認したり、不安な気持ちがなく活動に生き生きと取り組んだりすることができる。

図2の「ファミリーで読み練習」では、ファミリーリーダーが主となって、①Repeat（本文をリピートする）、②シャドーイング、③クイズの3つを行う。③のクイズは、本文の内容に関する問題を教師が用意し、クイズ形式で復習を行う。3年生のファミリーリーダーになると、教師が用意した問題ではなく、自分で考えた問題を出題できるようになる。こうした成長も、それまでの積み重ねによるところが大きい。

前時の復習が明るい雰囲気が始まることで、本時の学習課題に意欲的に取り組もうとする生徒の姿につながっていると実感している。本校では、このような前時の復習を、外国語だけでなく、他教科でも実践している。学習内容の定着の一助として続けていきたい。

前時の復習をする。
例文の意味の確認
ペアで読み練習
ファミリーで読み練習
ファミリーリーダーによるクイズ

図2

(2) 協力して課題解決

復習以外にも、バディやファミリーと共に協力して、課題解決の活動を行っている。バディとの活動を通称「バディ活」、ファミリーでの活動を通称「ファミ活」と呼びながら、生徒は意欲をもって取り組んでいる。

3年生のUnit5 ガンディーの人生について学習する单元では、ガンディーの歩んできた人生の前半と後半をバディで読み、ピクチャーカードを用いて、紙芝居形式でバディに伝えるという活動を行った。前半しか読んでいないバディに対して、後半部分の内容について、絵を示しながら、その

場でリテリングすることは、かなり難易度が高いと思ったが、生徒たちは必死で伝えようとし、バディのために必死に聞き取ろうとしていた。リテリングする際には、本文からキーワードを抜き出すことの大切さに気付くことができた。

2年生の「海外でのトラブル」という单元では、ファミリー毎に海外で想定されるトラブルを記入したミッションカードを配り、ALTにそのトラブルを解決するために交渉しに行くという活動を行った。既習の助動詞を駆使し、仲間と協力しながら、なんとかトラブルを解決しようとする姿があった。ALTが生徒の発言に対して質問を続けたことで、その場で臨機応変に答えなければならない状況となった。生徒たちは苦勞しながらも、協力しながら、最善の言い回しを思考することができた。

(3) スモールトーク、スモールテスト、意見交換会

授業の帯活動として、次のような活動も行っている。

- ・最初のトピックを指定して、バディとスモールトークを2分間続ける。
- ・ある課題を提示（例えば、三単現のsを含む一般動詞の肯定文、否定文、疑問文の作り方など）
→ファミリーになって学習（その際、文法についての質問等は、ファミリーリーダーが請け負う）→スモールテスト→ファミリー毎に平均点を出して競わせる。最終的には、個人の力を伸ばしていくことが必要になるが、「ファミリー」として活動することで、チームのために頑張ることが原動力や動機付けとなり、最終的には生徒一人一人の英語力向上につながることを実感させたい。

4. 成果と課題

「バディ」「ファミリー」のシステムを行った成果としては、次の5点を挙げたい。

- ・英語が好きな生徒が増える。
- ・苦手な生徒も安心して授業に参加できる。
- ・授業の雰囲気よさから学級経営にも好影響を与える。
- ・リーダーの育成につながる。
- ・スピーキング力とライティング力が向上する。

R3年度秋田県学習状況調査（1学年）では、5教科のうち英語だけが県平均を上回る結果になったこと、R4年度秋田県学習状況調査（2学年）では、県平均を上回り、R3年度よりも更に数値が上がっていたことについても、この活動の成果として捉えている。

課題としては、リーダー任せになってしまうと、リーダーの力量次第でファミリーが学習できる幅が狭まってしまう可能性があること、自律した学習者に成長させていく手立ての必要性などが挙げられる。また、バディやファミリーでの話し合いが多くなるために、課題にしっかり向かっているかの確認や中間評価が重要になる。これらの課題と向き合いながら、今後も実践を重ねていきたい。

第 2 学年 B 組 英語科 学習指導略案 〔男 18 女 17 計 35〕		場 所	2 B
		指導者	水沢佑希 大山直文
単 元 名	Let's talk② 丁寧なお願い ～許可を求める・依頼する [本時 2 / 2 h]		
本時のねらい	・状況を考えながら, May I～? や Could you ～? などの表現を適切に使って, 丁寧なお願いをすることができる。		
学 習 過 程			
学 習 活 動	時間	教師の支援と評価	
1 ウォームアップをする。	5	・ May I～? Could you～? の基本を確認し, 口頭練習する。	
2 前時の復習をする。 ・ 例文の意味の確認 ・ ペアで読み練習 ・ ファミリーで読み練習 ・ ファミリーダーによるクイズ	10	・ ペアやグループで会話文の確認をする。	
3 本時のめあてを確認する。	3	・ 活動のイメージをもたせるために, T1 と T2 で例を示す。	
海外で困りごと発生! 丁寧なお願いで困難を乗り越ろう!			
4 困難な状況を理解し, 丁寧なお願いで困難を乗り越る。	17	・ 多くの生徒が英文を活用できるようグループで問題を把握し, 役割分担をする。 ・ 学び合いの雰囲気向上させるために, よい雰囲気ファミリーを全体で紹介する。	
5 書いて確認する。	10	・ 状況設定で, それに対応した英作文を書けるようにする。	
		状況に応じて, May I～? と Could you ～? を使用できる。【発表, ワークシート】 (思考・判断・表現)	
6 本時を振り返る。	5	・ 振り返りの視点を示し, 友だちのよさに気付かせる。	

英語 オリエンテーション

組 名前

なぜ英語を勉強するのか？

- ① () から
- ② () から
- ③ () とつながるから
- ④ () があるから

英語学習の目標

- ①堂々と自分の意見を言ったり、人前で発表したりする力を身につける。
- ②受検で合格できるような英語力をつける。
- ③英語を通して、コミュニケーション能力を身につける。
- ④ペア活動やグループ活動をする中で、友達の良さに気付く。

授業のルール

- ①「基本的には」時間にはじめ、時間で終わる。英語多めで進める。
- ②3分前から呼びかけ、1分前に座って宿題や教科書を用意して待っている。
- ③ペン回し禁止。
- ④動と静のけじめをつける。

鬼の水沢登場！

- ①けじめのないとき
- ②忘れ物をしても言いこないとき
- ③ルールを守ろうとしないとき
- ④人の勉強を邪魔する行為をしたとき
- ⑤人の失敗を笑ったとき
- ⑥約束を破ったとき

授業は・・・

教科担任の私とみなさんの信頼で成り立つ！？

「楽しくてわかりやすい授業を準備するぞ！」 by 教科担任

「前向きに授業を頑張るぞ！」 by みなさん

一緒によりよい授業を作って行きましょう！！！！

英語のアンケート

組 番 名前

☆この人がバディ（ペア）なら、さらに英語の授業を頑張れそう！と思う人は誰ですか。ただ、単に仲の良い人ではなく、英語の授業で頑張れそうという視点で書くこと。

男子

女子

私は誰とペアになっても一生懸命頑張れます！！

☆英語のリーダー（ファミリーリーダー）をやってみた。

やってみたい

やってもいいかな

どっちでもいいですよ

あんまりやりたくない

絶対無理！

☆目が悪くて座席を前の方にして欲しい人は、いますか。どちらかに○。

・前の方をお願いします

・どこでも黒板見えます